

★令和6年度調査研究に関する事業について

【教育に関する調査実践研究】(研究員による研究)



1 研究主題

不登校児童生徒の社会的自立に向けた支援の在り方に関する研究
～登校支援室の運用と教職員の関わりを通して～

2 研究概要

不登校に関する課題は現在の重要な教育に関する社会問題の一つである。文部科学省によると、令和4年の不登校児童・生徒の割合は、小学校で1.7%、中学校で6.0%あるといわれている。また草津市でも、令和4年度の調査では、小学校で1.43%、中学校で5.92%と全国と近い数値になっている。不登校児童生徒に関する課題は、昨今の教育的課題の大きなひとつであるといえる。そこで、草津市では、令和6年度から各小中学校に登校支援室を配備し、不登校(行き渋り)児童生徒の居場所作りについて積極的な取り組みを始めていく。

本研究では、不登校児童生徒が社会的自立をするためには、学校としてどのような関わり、環境整備が必要なのかを探っていきたい。今年度から配備される登校支援室や不登校児童生徒にかかわる教職員が不登校児童生徒にどのような影響があるのかを考察し、よりよい対応法を見つけていきたい。

3 研究の計画

3学期			2学期					1学期			
3月	2月	1月	12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月
研究論文の掲載	研究の発表	研究論文の作成	研究論文の作成 教職員への聞き取り(アンケート)・	調査・分析(できればアンケート) 登校支援室の児童・生徒の	調査・分析 登校支援室の児童・生徒の	調査・分析 登校支援室の児童・生徒の	2学期に向けての相談 登校支援室の児童・生徒の	(アンケート) 教室の整備、教職員との打ち合わせ	実態把握・教育相談担当教職員への聞き取り(できればアンケート)	授業実践協力校への依頼 先行研究等の分析	研究テーマの決定、研究計画

【地域教材(わたしたちの草津)の活用に向けて】

1 「わたしたちの草津」編集委員会の活動内容(予定)

小学校3・4年生向け社会科副読本「わたしたちの草津」の活用推進のため、令和8年度からの使用に向けた一部改訂(写真データや最新資料の収集・文面の修正等)を行う。

2 今年度の予定

編集委員会(推進委員会)の開催……………令和6年5月24日(金)
編集委員による作成、編集作業……………令和6年6月～
編集委員会で進捗状況確認等の作業……………令和6年8月23日(金)ごろ
編集委員で最終作業、推進委員で原稿チェック……令和6年9～11月
正副委員長と事務局で最終チェック……………令和6年12月末
原稿を教育委員会へ回議……………令和7年1月～
(印刷、製本は令和7年度に行います。)

